

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
経済学研究科	経済学専攻	経済学史研究	不可

問題 1980年代の新自由主義（neo-liberalism）について、基本的な思想、歴史的背景、代表的な経済学者、実際の政策や展開をふまえて、800字程度で説明しなさい。

令和8年度 国士舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	経済学研究科 経済学専攻
試験期別	I期
試験区分	一般選考
試験科目名	経済学史研究

■出題の意図

新自由主義は、「小さな政府」対「大きな政府」、「市場」対「国家」、新古典派对ケインジアンなどの論争、ひいては資本主義対社会主義の対立など、経済学上の中心的なテーマに大きくかかわるものである。一つのテーマでありながら、外見を変え、上述のようないろいろな二項対立のかたちで、第一次大戦後 100 年以上にわたって問題であり続けてきたものでもある。

これについての知識や理解を確かめることが出題の意図である。

■採点のポイント

採点のポイントは以下のとおりである。

- ・基本的な考え方の言及があるか。
- ・新自由主義が生まれてきた歴史的背景として、ケインズ主義や社会主義の行き詰まりに対する言及があるか
- ・代表的経済学者として、ハイエクやフリードマンへの言及があるか。
- ・具体的な政策として、自由化、民営化、規制緩和への言及があるか。
- ・実際の展開として、イギリス、アメリカから始まり、ヨーロッパ、日本へと広まっていく過程への言及があるか。
- ・その後、リーマンショック以降の展開に言及があるか。